



# Mitsui V-Net

## Mitsui Volunteer Network Center

### 三井ボランティアネットワーク事業団

ニュースレター Vol. 55

2016年1月1日発行

## 新春のご挨拶

三井ボランティアネットワーク事業団  
理事長 藏本 誠三

あけましておめでとうございます。

昨年6月に團野前理事長よりバトンを受け理事長に就任いたしました。



本事業団は、わが国の少子化・高齢化が著しく進歩し未曾有の高齢社会を迎える時代に、日本社会が活力を保ち続け、国民生活を維持・向上させていくためには、高齢者が社会活動に積極的に参加し、活躍できる環境を創り出すことが急務との認識に基づき、平成8年に創設されました。以来、今年10月で20年の節目を迎えることとなります。

「シニアの生き甲斐づくり支援」、「三井グループの社会貢献活動」を目指し、三井V-Netが誕生してから20年を迎えた現在、三井グループ運営会員各社（現行25社）のOBを中心としたボランティア登録会員は1,400名を超え、①国際交流、②環境保全、③医療・福祉、④文化・教育の4分野において、年間延べ9,300名の方がさまざまなボランティア活動に活躍されています。

東京本部では、国際交流、医療・福祉分野に部会が設立され、各部会の代表である世話人を中心に、活動が実施されています。国際交流分野では、留学生との一対一交流の他に様々な行事が企画され活動が活発に行われています。医療・福祉分野では、病院での外来受付案内のほか、エリザベス・サンダース・ホームでの清掃活動が70回を超えて行われています。

関西支部では、国際交流分野で神戸大学留学生交流会が長期にわたり開催され昨年で12回目を迎えました。また環境保全分野においては、二色の浜海岸清掃の主催運営団体を務め活動しています。会員同士の情報・意見交換も活発に行われています。

中国支部では、同支部の永年にわたるボランティア活動に対し、「広島市ボランティア情報センター」の推薦により市長表彰を受けました。これは広島市社会福祉協議会の会長表彰に続き2年連続の表彰であります。

今後ともボランティア活動の内容の向上及び活動頻度アップに努め、三井V-Netの将来への発展並びに三井グループの社会貢献活動の一端を担い三井ブランドの向上を目指し努力してまいります。

平成27年度の取り組みにつきましては、①三井V-Net体制の見直し②新規ボランティア登録会員の拡大③運営会員会社の拡大の3点があります。

まず、三井V-Net体制の見直しにつきましては、様々な活動の基礎となる財政状態を強固にするため、年会費変更の議案を2月に開催予定の臨時理事会に上程いたします。

次にボランティア登録会員の拡大ですが、会員の口コミやホームページの改訂・充実等により会員数は年々増加しております。昨年は、ニュースレターの配布先を二木会・月曜会各社の関連会社まで拡大し更に勧誘活動を強化しています。

運営会員会社の拡大につきましては、平成25年度に太平洋セメント、三井住友建設の2社が復会され25社となり、弊事業団設立時の二木会会社全社が揃うことになりました。更に会員会社を増やすために、二木会・月曜会メンバー会社の未加入会社及び休会会社への新規加入あるいは再加入の勧誘対策に取り組んでまいります。

本事業団としては、本年も充実したボランティア活動を展開してまいりたいと思っておりますので、引き続き皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後に、今年一年の皆様のますますのご発展をお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。





人と人のまんなかに。

## 本部（東京）

### 東京大学国際センター部会 秋のイベント・留学生交流会

白井 則子（活動会員）

秋のイベントとして2015年10月15日に留学生交流会を開催しました。会場は東大キャンパス内にある山上会館。この会館は東大創立百周年記念事業として建てられた建物で、キャンパス内の木立に囲まれた閑静な環境の中にあります。今回は東大国際センター相談室の協力で使用できました。そして参加者も40名（東大の先生2名、留学生及び研究員16名、三井V-Netの会員及び事務局22名）で最近にはない盛会となりました。



今回のイベントは留学生、外国研究員と日本人の交流、親睦を目的としました。会の進行は挨拶から始まり少し堅苦しい雰囲気です。三井V-Netの成り立ち、東大FACEとの18年間の歴史などが紹介されました。しかし、歓談がはじまるとリラックスした雰囲気となり後半は留学生による抽選会。会場を沸かしてくれる上手な留学生の司会で、笑い声も大きくなり終了に近づくにつれて会の雰囲気は学生ペースに変わっていました。

このような若者の姿をみてシニア会員たちも気分が若返り話も弾んだようです。留学生たちは異文化に溶け込み、若者らしい発想で日本人との関係を築いているようでその逞しさに感心しました。三井V-Netの会員の方も日本語ボランティアよりもむしろ交流で学ぶことが多いことを再確認されたようです。楽しい時間は経つのも早く、名残惜しい気持ちで記念撮影に移りました。この交流

会がきっかけになり新しい交流やお互いに理解できる関係が長く続くことを願い終わりました。

会がきっかけになり新しい交流やお互いに理解できる関係が長く続くことを願い終わりました。

### 留学生交流会に参加して I

中村 次雄（商船三井OB）



本日、三井V-Netと東大留学生との懇親会に出席し三井V-Netの古いメンバーを代表してご挨拶の機会を得ましたことは大変光栄に思います。本日はまた東大国際センターから大西、原田両先生もご参加され格別嬉しく思います。

嬉しく思います。

東大国際センターの皆様には日頃「FACE」交流の発展に関し格別のご協力を頂き改めて御礼申し上げます。

三井V-Netは今から丁度19年前の1996年10月に三井関係各社から東大留学生センターを担当されておられた今は亡き故栖原暁教授の格別なご協力を忘れることは出来ません。

現在の対一交流の「FACE」方式は東大と三井V-Netの合作と言っても過言ではなく、現在他大学の留学生との交流にも広く採用されております。1997年11月に東大に於いてボランティアと留学生との対一の組み合わせの集団見合い会が栖原先生主導で開催され、当初約50組のペアが誕生しました。将に「FACE」交流のスタートでした。

次に三井V-Netと東大当局と留学生三者間の連携を一層強固にした計画は三者が一同に会する新年懇親会の開催でした。1999年1月から三井V-Netと東大共催で5年間連続開催され、毎年三者の会員・家族・友人等250名位参加の盛会でした。最初の2回は「東大山上会館」の大ホールを使用させて頂き、3年目からは「文京区民センター」を使用させて頂き大成功であったと自負しております。

今後、東大を含め日本の大学関係の外国留学生は益々増加すると予想しておりますが、留学生の皆さんが日本に留学して大変良かったと思われるように私共ボランティアも努力していきたいと決意を新たにする必要があります。

また、私には大きな夢があります。2020年の東京オリンピックの年に過去20年に亘って東大に留学された留学生の諸先輩も再来日され一同に会しては如何かと思っております。





## 留学生交流会に参加してⅡ

東京大学経済学研究科客員研究員 黄河 (中国)  
交流会は、東大国際センター部会世話人代表の白井様が司会、会員の中村次雄様と理事長の藏本誠三様が三井V-Netの代表として挨拶しました。東大国際センターの大西先生も、学校側の代表としてスピーチしました。“乾杯”の後、皆さんは美食と美酒を味わいながら、歓談しました。

約30分後、“くじ引き”ゲームが始まりました。抽選会はタイからの留学生Parit君とGolf君が司会し、事前にもらった番号が呼ばれると、留学生が壇上に立って、自己紹介し、ギフトを選びました。若い留学生が多いので、彼らのユーモアが会場の人々を笑わせました。楽しいですが、あっという間に時間が過ぎてしまいました。

客員研究員として、今回日本での留学は2回目になりますが、体験は全く違います。最初の留学は、日本語の問題もありながら、経済的、時間的な余裕が無かったため、日本文化の体験が少なかったです。今回はとてもラッキーで、日本に来て間もなく、三井V-Netに巡りあえて、そして、多くの有意義な活動に参加し、友達がたくさん出来て、日本の歴史、社会や文化についての理解を深め、日本の方々との相互理解も一層深めます。

国際化、グローバル化が進んでいる現在、留学生の役割は何でしょうか。再び考えさせられます。外国語、学位、専門知識の習得は勿論ですが、異文化の中で、お互いに誤解や偏見を無くし、相互理解と協力を深め、つまり、心の交流が一番重要ではないでしょうか。

今回の交流会で、普段会えない三井V-Net活動を支えてくださった人達に会えて、とても嬉しいです。彼らは、年配にも関わらず、留学生のため熱心に協力してくれて、この奉仕の精神に心から感謝致します。私も、留学生の“先輩”として、限られている在日期间を大切に、専門を研修しながら、文化交流の懸け橋として、頑張っていこ



中央が黄河さん

うと思います。

## タイで三井の会社に就職した 元留学生からの近況報告

本部事務局

タイの元留学生Tanut Treratanakulwongさんから現在タイの三井物産で働いている近況を報告してくれました。彼は2011年東京大学に留学、2013年修士課程終了、その後2014年にタイに帰国しました。在日中は三井V-Netのイベントに参加して楽しんでくれました。

### 私の三井

Tanut Treratanakulwong (タイ)

子供の時にお父さんがタミヤ（プラスチックモデル）を買ってくれました。そしておもちゃの中でタミヤが一番好きだったのです。このおもちゃがきっかけでロボット・機械に関心をもちました。その夢を追ってタイの大学で工学部コンピュータを専攻しました。半分夢は実現。その後タミヤの国（日本）を追いかけ日本に留学しました。東大では2年間ロボットハンドの研究をしました。修士課程卒業後8か月教授の立ち上げたロボット会社に勤めました。日本の楽しい思い出として浮かぶのは三井の事です。三井とは事業ではなく、三井V-Netというボランティア団体の方たちにお世話になったことです。会員のボランティアの方は留学生のため一生懸命日本のことを伝えてくれました。

その後、タイに帰国。一年間、どういう仕事をしようか考えながら、母の歯科医院を手伝っていました。“自分の機械を作りたい”という気持ちが満足できる仕事——しかしタイにある日本の企業で浮かぶのは車・電気生産しかない。タイでは自分に向く仕事がない——どうしようかと考えていました。そこでタイの国でも日本の国でも役に立つ仕



左端がタナットさん



事をしたいなら知らないものを試してみようと思いました。人材紹介会社からの連絡で、三井物産という日本の商社が募集していると聞き、分からないまま面接に行ってみました。そこで、生産でなくてもビジネスになることが分かりました。その後ネットでタイの三井に長い歴史があることを初めて知りました。

タイ三井のインフラ部に入って約2か月になります。チーム7人が皆で協力して問題を解決しています。一日の過ぎるのが速く、夜までも勉強しなければならないことが残ってしまいます。しかし、こういう雰囲気が好きです。タイの三井物産はバンコクの広い公園の近くにあります。11月のバンコクマラソンのため毎日友達とその公園を走り練習しています。これを含めて今の生活が好きです。僕は三井が好きですが、三井は僕が好きかな～。

## 東京証券取引所見学会

宮崎 清 (三井物産OB)



10月19日の秋晴れの昼すぎより、一橋大学の大学院生・世話人に加え東大の学生・世話人の方々にも参加戴き、総勢14人で日本橋兜町

にある東京証券取引所の見学会を行いました。

立合場は昔の騒然とした面影は全くありません。広いが静まりかえっていて、テレビでお馴染みのディスプレイ画面がクルクルと回っているのが印象的でした(取引高により、回るスピードが変わるのだそうです。詳しくはアリウナーさんの見学記をご参照ください)。

東証は10名以上でないと団体としての説明員がつかみませんが、東大の関係者の方々並びに事務局の牧野様にも参加協力戴き、何とか団体としての体裁が整い、楽しく見学が出来ました。

この場をお借りしまして、皆さまに御礼申し上げます。

## 東京証券取引所への見学・感想文

一橋大学 経済学研究科 留学生  
MUNKHBAT ARIUNAA (モンゴル)

「投資」、「資金」、「株」などの概念は社会、そして経済学において非常に重要な概念です。そ

ういった意味でも、テレビで流れるニュース、新聞で掲載される記事などで、このような概念について聞いたことがたくさんあり、大学の授業でも教えてもらったことがありました。しかしながら、実際の投資のメカニズム、注意すべきこと、投資家の意思決定などについては、私自身あまり分かっていないという思いがありました。



そこで、これらの概念をより実践的に勉強し、理解度を上げたいと思ったので今回の見学に参加させていただきました。見学では、まず、明治時代以来の貴重な資料や取引に使われていた道具など保管されている「証券資料ホール」を回りました。その後、日本で証券取引がどのように生まれたのか、当時からどのような流れで現代まで発展してきたのか、現在の日本の証券取引のあり方などについて勉強をさせていただくと共に、「マーケットセンター」も見せていただきました。最後に、「株式投資体験コーナー」で実際に自分が投資家になって、株式の売買を行ってみました。そこでは、投資というのが、与えられた情報や世界の色々な出来事を分析し、いち早く正しい判断をするとても責任のある、かつ楽しいことだということが分かりました。

モンゴル出身の私ですが、証券取引所は映画でしか見たことがなかったので、何百人の証券会社の社員が売買を行ったり、黒板でそれぞれ株価を書いたり、良い結果出たら盛り上がりたりするような所だと思っていました。しかし、それは大昔のことで、現代の証券取引所というのは、著しい速さで決定される株価が流れて出てくる電光掲示板を始め、コンピュータ化が非常に進んだ場所でした。

最後になりますが、このような貴重な機会を与えてくださり、見学の企画してくださった三井





V-Netの皆様にご心から感謝致します。ありがとうございました。

## 三井V-Netのボランティア（千葉大会）で感じること

井出 袈裟繁（東洋エンジニアリングOB）



今回の投稿では不本意ながら近年感じていることを率直・正直に述べてみたい。ネガティブな記事になったらご容赦いただきたいが、このような感想を自分以外の会員もお持ちなら共通の課題として解消に向け、更なるボランティア活動の発展に向け挑戦したいものと思う。

自分は会社を定年退職し何か自分も少しは社会に役立つことをしてみたいと思っていたところ三井V-Netの存在を知り、先輩諸氏が留学生を対象にボランティア活動をしていることなどを学び、自分も仲間入りし今日に至っている。しかし、何故か、近年自分の属している千葉大会には新しいボランティア会員が入ってこなくなっていて久しく、現会員は年々お歳を召してゆき部会活動の先細りを感じている昨今である。大学側における留学生は常に変化し、新陳代謝(?)を繰り返しているというのに、しかも千葉大学ではグローバル人材を育成するという大きな目標のもと「国際教養学部」が平成28年春には誕生するという国際化に向かっており、我々のようなボランティアのニーズはますます高まってきているのではなかろうかという状況の中、ボランティア会員を切望する。

全学でグローバル化を推進する千葉大学では、平成24年に国際化方針「グローバル・キャンパス・千葉大学」を策定し、グローバル人材を育成する制度やカリキュラムを充実させてきた。平成26年には文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援」のタイプB（グローバル化牽引型）に採択され、その中で新しい学びの形として構想されたのが国際教養学部だと伺っている。近年、国際教養学部の新設は全国的な傾向だが、国立大学としては千葉大学が初めて、実に41年ぶりの新学部創設で、時代の要請に応えるものだとされている。

私共、三井V-Netのボランティア会員による留学生に対するサポート・活動の必要性がますます増してくる今日、若い新人の加入を大いに待ち焦

がれている。

## 「日本文化体験クラス」を開催して

横山 美代子（三井物産OG）

駒沢大学国際センターの協力を得て、会員の馬場さんと二人で「浴衣体験クラス」と「茶道体験クラス」を開催いたしました。

2015年7月14日に開催した夏の「浴衣体験クラス」では浴衣の着付けに関する説明の後、ジャンケンをして好きな浴衣を選んでいただきました。

初めて浴衣に触れて緊張していた5名の女子留学生達も、浴衣を肩にかけて帯を合わせるうちに笑顔があふれとても良い雰囲気になりました。

手作りの資料を見たり腰紐を結んだりしながらお互いに助け合って熱心に練習をした結果、彼女達はひとりで浴衣を着て帯を結べるようになりました。鏡の前で可愛い髪飾りを付けてお庭で写真撮影会をして、楽しい時間はあっという間に過ぎてしまいました。最後に、畳の上で丁寧に浴衣をたたんで片づける彼女達の姿はとても美しく私たちの心に残りました。

ご協力いただいた皆様のお陰でこのような会が開けた事を、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

(参加者の感想)

\* 陳想想さん（中国）

浴衣には豊かな色が有ってとても楽しいです。

\* 蔡ペイシュさん（台湾）

初めて自分で浴衣の着付けをしてみた！本当に良い経験でした！

2015年10月3日に開催した秋の「茶道体験クラス」では簡単な和菓子作りから始めて、自分で点てたお抹茶と共に日本の秋を体感して頂きました。

広い和室でお庭を眺めながら、お茶のお道具の美しさや裏千家のお話しをして留学生からの質問



(駒沢大学深沢キャンパス日本館庭園にて)



(駒澤大学深沢キャンパス 日本館にて)

を受けて至福の時を過ごしました。

お抹茶が苦くて飲めない人がいたらどうしよう？という心配をよそに全員が「おかわり」の声をあげて、2服めのお茶を点でて日本の秋を感じてくれたのでとても嬉しく思いました。

(参加者の感想)

\* 陳想想さん (中国)

初めて茶道体験に参加しました。秋ですから秋の風物詩が入っているお菓子も食べました。お茶とお菓子が面白くて美味しいです。茶巾絞りを作る過程も楽しかったです。最後に自分でお茶を作る時はすごく満足です。

\* 蔡ペイシュさん (台湾)

お菓子とお茶の組合せが最高！とても美味しかったです！

\* エリン・ドワードさん (オーストラリア)

今日は本当に楽しかったです。和菓子を食べてみたのははじめてです。

かぼちゃとまっ茶の作り方もおもしろかったです。ありがとうございました。

\* ウェスタン・レイキー君 (USA)

ほんとすばらしかったです！おいしいし、おもしろい感じでした。ありがとうございました。

\* シェルビー・ブラウン君 (USA)

でんとうてきな日本文化が好きです。もう一回体験したいです。おかしを食べてから、飲んだお茶が甘くなりました。おいしかったです。あ

りがとうございました。

## 留学生のための書道教室開催

宮田 哲 (商船三井OB)



2015年10月9日、東大柏キャンパス留学生を対象とする書道教室を、宇宙線研究所所長梶田教授のノーベル賞受賞で湧く柏キャンパス内で開催いたしました。

留学生に日本文化の一端に触れてもらおうとの趣旨で昨年初めて書道教室を開催しましたが、好評であったため継続して開催いたしました。今年は参加者数も昨年より増え定員一杯となりましたが、参加者の出身国も書道本場の中国、台湾ばかりでなく欧州、中近東、東南アジアそれに南米のコロンビアなど10か国からと多彩になりました。

吉野書道協会会長からの書道の概略の話しに続き、留学生は書道協会の先生方の丁寧な指導のもと各自ホワイトボードに掲示された漢字の



中から好きな字を選んで練習に入りました。中国、台湾出身の学生を除き、筆を持つのははじめてという人ばかりで筆の持ち方から教わり書の練習を開始しました。指導される柏書道協会の先生方も今回が2回目とあってリラックスして指導されボディランゲージで留学生とのコミュニケーションを楽しんでおられました。留学生は何度も半紙に練習したあと、緊張感を持ちながらも心を集中して清書を書き上げました。

今回は各自2作品を作成し、一つは東大柏オープンキャンパスデー(10月23日、24日)に新領域・





人と人のまんなかに。

環境棟のロビーで、もう一つの作品は柏高島屋 8F のギャラリーで展示されました (10月22~25日)。作品を見に来た人々は留学生の手による作品に初心者外国人としては書が様になっていることに驚き、さすが東大の留学生だと感心しきりでした。

わずか1時間半の書道教室でありましたが、これを通じ留学生が少しでも日本文化に興味を持ってくればありがたく思います。

## 横浜国立大学主催 観月の会

小川 富美恵 (三井物産OG)

今年も横浜国立大学長主催の「外国人研究者/留学生 観月の会」へ招待されました。この会は横浜国大在席の外国人研究者・留学生やボランティアと学長を始め先生方とのふれあいの場として開催されます。今年は10月15日、上弦の三日月の日でした。先生方や顔見知りの留学生達と言葉を交わしている内に、学長の挨拶が始まりました。今年の春と秋の留学生は200名以上。現在在学中の留学生は800名以上で、これは全国12番目のお話でした。今年の「観月の会」にも各国からの大勢の方々が参加していました。

次は学生達のパフォーマンスの時間です。まず、中国留学生による二胡の演奏。引き続き民族衣装を着たミャンマーの学生達の歌と踊りです。ミャンマーの正装は男性もロングスカートなのですね。布地の模様や色は違いますが男性用スカートも女性が着ているスカートと同じ形でした。

次は日本人学生の番です。鉦や太鼓の演奏による日本民謡と観客も踊りに合わせて一緒に掛け声をかけて楽しむにぎやかで剽軽な青森の民謡。最後の曲は大太鼓を横にして腰を低くした姿勢で力強く太鼓を打つ勇壮な演奏でした。

次は着物ショーです。各着物を説明しながら見せました。大島紬や小紋、着流しから男性の袴姿の正装、女性の正装である黒留袖に振り袖まで留



学生と日本人学生がモデルです。卒業式の定番となった女性の袴姿もあります。着流し姿の男子学生が羽織の裏を披露した時、水墨画模様の素晴らしい裏地に驚きの声。日本の粹であり、贅沢禁止令が出た時でもこのようにして楽しんだとの説明は理解してくれたかしら？私の少ない知識ではありますが、後ろ姿も自慢したい民族衣装は日本の着物だけではないかしら？着物姿は正面だけでなく後ろ姿の帯も見てもらいたいもの。着物・帯・その組み合わせの素晴らしさ。モデルは緊張して正面を向いて立っていて後姿を見せないのでも残念。素敵な帯も見せて欲しい・・・。

最後の、帯をふくら雀の型に結んだ振り袖姿では、説明の先生にうながされ両手を広げて模様と袂の長さを見せながらぐるっと回って、後ろ姿も見せて良かったです。全ての着物のモデルが並んで終了したとたん男子学生達と一緒に写真を撮りたいとワット集まって行きました。各国の民族衣装を着た出席者も一緒に華やかな記念撮影でした。観月の会に相応しく華やかな雰囲気の中、にぎやかに歓談は続きました。

## 2015秋 横浜国大大会 welcome walk

坂本 健 (三井物産OB)

例年の春、秋の行事となっている横浜国大での新規留学生を迎えての横浜みなとみらい地区での welcome walk が10月10日に開催された。

毎回天候が大変気になるところであるが、今回は曇り空ではあったが雨が降ることもなく予定したコース約7km程度の道のりを参加者全員で会話も楽しみながら歩くことができた。長谷川先生のPR御尽力に加え、今回は会員の渡辺直敬氏が作成



JR桜木町駅前での集合写真



人と人のまんなかに。

してくれたwelcome walk開催のPR用ポスターを横国大校内や各寮に掲示、PRしたこともあり、43名の留学生と横国大からは長谷川先生その他、日本人学生がサポート役として4名、それに会員が15名と総勢では60名を超える大変多くの方が参加してくれました。参加した留学生の国別では、英国、リトアニア、スペイン、フランス、ドイツ、イタリア、ロシア、エジプト、アメリカ、オーストラリア、マレーシア、インドネシア、中国、台湾、韓国、ケニア、ジンバブエの17ヶ国と大変多くの国々の留学生が参加してくれました。このwelcome walkで留学生と会員との関係が親密となりより良い交流に繋がればと願うところです。



PRポスター



写真中央が筆者

す。その方によるとヨシ原の中はごみの宝の山だそうです。我々が地元小中学生や一般市民の方々と一緒に活動することは大変良いことと実感しました。

同フォーラム事務局によると、ごみは荒川上流や河川敷で捨てられたり、干満で運ばれてきたりしてヨシ原等に溜まっているとのこと。これらのごみは人手を借りて除去する以外なく、自然破壊や環境への影響から荒川を守るには、荒川クリーンアップ活動を今後も続ける必要があるとのこと。然しながら何時までも続けることは望ましいことではないので、環境保全の大事さを子供達や一般市民に伝えて、誰もがごみを捨てないようにして自然環境豊かな荒川にしたいと願っているとのことでした。

荒川について調べてみましたら、奥秩父から続く荒川は1910年に大洪水に見舞われ、その後も台風等で数回洪水の被害が出たそうです。洪水を回避すべく1913年に岩淵から河口まで22kmを人工的に掘削する放水路工事は17年間も要する難工事となったそうですが、工事が完成して荒川本流とよばれるようになってからは市民が安心して生活できるようになったとのこと。

今回三井V-Net事務局の方々には貴重な経験をさせて頂き感謝申し上げますと共に種々お手配頂きましたことお礼申し上げます。

## 荒川クリーンアップ・ボランティア活動参加報告

杵村 昭典 (三井物産OB)

三井V-NetのNews Letterを読んで健康なうちに体を動かせる活動をしたと思い、平成27年10月12日の荒川クリーンアップに参加致しました。集合場所のJR総武線平井駅より荒川河川敷まで15分程度歩いたのですが、コーヒーショップ、コンビニ、一戸建てやマンションが立ち並ぶ大変庶民的で住みやすい街に開発されていました。

主催の荒川クリーンエイド・フォーラムは国交省荒川下流河川事務所のサポートの下、学校、企業、市民団体が一致団結して決められた範囲内で組織的に清掃作業を行うべく1994年設立されたとのこと、これまで毎年100会場で約10,000人による荒川クリーンアップに大変な貢献をしている組織であると知りました。

同フォーラム事務局よりの事前説明を聞いたあと、わがグループは3つの班に分かれて、燃えないごみ、燃えるごみ、ペットボトルと夫々分けてごみ袋に収集しました。経験豊富な方は1人でごみ袋を3つとも持って高さ4mのヨシ原の中に入ったまま、ペットボトル約30個等沢山のごみを拾い集められたことを知って一同驚いた次第で

## 第9回エリザベス・サンダース・ホームチャリティーコンサート開催

東京本部事務局

2015年11月8日(日)、恒例のエリザベス・サンダース・ホーム(ESH)チャリティーコンサートが聖ステパノ学園「海の見えるホール」にて開催され170名の皆様が鑑賞にお見えになりました。当日は雨にも拘わらずチケットを購入いただいた





皆様に来場いただけたことは何にもましてありがたいことでした。

今年もリクエストの多かったソプラノサクソフォン奏者小林洋平氏を中心にピアノと7名のストリングスの皆様による演奏をお願いしました。一昨年、昨年とピアノ演奏をしていただいた木原健太郎氏が今年はどうしても都合がつかず、開催の主旨にご賛同いただいた桃瀬茉莉さんに出演をしていただきましたが、木原健太郎氏とはまた違った素晴らしいピアノの音色を聞かせてくれました。また、小林洋平氏の旧知の友であるパーカッション奏者の橋谷田真氏が特別ゲストとして打楽器奏者として演奏会に加わってくれました。勿論、小林洋平氏のサクソフォン、伊藤友馬氏率いるストリングスのメンバーも昨年以上の熱演で、打楽器演奏とも相まって昨年とは異なる新たな世界を生み出したような演奏がホール一杯に響きわたりました。高田佳代子さんも今年で3回目の司会を快く引き受けていただきましたが、その流れるような司会進行で音楽が更に栄え観客の皆様からコンサート後、「素晴らしい流れの中での音楽に酔いしれた2時間になった」と大変嬉しい感想を数多く頂戴しました。

演奏終了後はESHの子供達6名から奏者の皆様に花束が贈呈され、その小さな子供達と奏者の皆様に会場から一段と大きな拍手が送られました。

コンサートの最後にはESHの小川理事長より会場の皆様及び事業団に御礼の挨拶があり、大変



和やかで楽しいコンサートを終了することができました。お陰様でほぼ予定しました収益金をESHへ寄附することができました。皆様大変ありがとうございました。

## 関西支部（大阪）

### 石頭の留学生交流

生田 清博（登録会員）



留学生と筆者(右端)

自分では柔らか頭と思っていたのですが、いざ留学生と対面してみるとこんなに固かったとは、という私の話です。

留学生との交流の場として

ファミリーレストランでのことです。いつものように上から目線で得々と日本社会の説明を続けていますと、私の言葉が催眠リズム化したのでしょうか。徐々に目がトロ〜ンと。「これはいけない」と、さらに話のテンポを速めると、あくびが出ました。「あれれ〜？」

ちょうど2年前、神戸大学から中国人留学生の紹介を受けました。三井V-Netの会員となって初の一対一交流です。ラグビーW杯代表のように「日の丸」を背負っているはずもないのですが、私のような海外経験の乏しいオジサンは、国際交流と聞くだけで何か力んでしまう。「お役に立ちたい」「教えてあげる」。どうもこの気負いがいけなかった。

ちょうど20年前、会社に中国からの学生を受け入れたことがありました。働きながら日本語学校へ通い、日本の大学を目指す。当時の中国留学生にとっては何もかもが新鮮だったのでしょう。何でも吸収してくれました。気分がいい。「もっと教えてあげよう」。この時が上から目線の始まりでした。

時代は猛スピードで進んでいるのに、私の石頭は20年前から時間が止まっていたのでした。しかも、それに気づかない。今や中国の留学生は、来日前から日本人と変わらぬ知識をたくさん持っています。逆に遠慮して出さない学生もいるぐらい。とんでもない勘違いをしていたものです。

何かが変だ、と混乱する中で、思い込みに気づ



神戸大学留学生交流会 集合写真

いたのは反面教師のおかげです。2014年春、神戸大学の女子留学生4人を引率して大阪市内の新聞社を見学したときです。案内係は年配の男性社員。中国人留学生を迎え、「教えてあげよう」と最初から張り切っている表情です。調査資料室で小林綾子の写真を取り出し「これ誰かわかるかな」。得意満面に「大人になった『おしん』の姿です」。留学生は全員が「……？」。

想定外の反応に案内係は慌てました。「えっ、中国で『おしん』は有名じゃあなかったの」。「じゃあ、誰が有名ですか」。留学生は一斉に「嵐！」。

私と同じです。ピンぼけもいいところ。案内係も時間が止まっていました。遅かったけど、とにかく気がついてよかった。

20年分の時計の針を急いで進め、改めて留学生交流のスタートです。2015年秋には神戸大学の留学生交流事業で10月31日の留学生ホームカミングデー、11月10日は留学生交流会にも参加しました。留学生の話をよく聞き、一緒に歩み、一緒に楽しむ。留学生の希望に満ちた喜びが、私の喜びになるように。私の頑固だった石頭も少しずつ新しい時代の対一交流に切り替わって行くはずです。

## 大阪市立大学留学生の対一交流に当って

小田島 厚（商船三井OB）



長年住み慣れた茅ヶ崎を後にし、大阪は、堺市の泉が丘の地に今年の5月15日（平成27年）、引っ越して来ました。緑の木々に包まれた緑園都市、「食い倒れ」の名が示す通りの美食店、面倒見のいい浪速人氣質、等々の当地の卓絶した環境に恵まれ、まだ半年弱しか住んでもいないのに、スムーズに関西の生活流に溶け込み、もう数年余りも住んでいる感覚で、毎日楽しく過ごしております。

平成25年に会社を退職し、さて何をしようか？

とは、誰もが一度は経験する道ではないでしょうか。「これまでお世話になった事だし、社会に恩返しでもするか」との想いで、三井V-Netに入会しました。最初は横浜国立大学の韓国人留学生に日本語を教えることとなり、一年間対一交流に精魂込めて励んだ次第です。その学生は上達が早く、当該ボランティアに私をのめり込ませたのも、法悦境に浸る楽しみを教えてくれたのも、この留学生です。大阪でもこの活動を続投することには変わりはなく、事務局の多大なご協力の下、大阪市立大学ではインドネシアからの女子留学生を紹介いただき、彼女の日本語習得にお手伝いすることになりました。

インドネシアには、過去4年間住んだ経験があり、今ここにインドネシア人に日本語育成でお手伝いすることは、偶然とは言え、何か人生の奇遇を感じざるを得ません。インドネシアは、いろいろな面で日本との類似点が多く、好感の持てる国・国民です。これが当時お世話になったお返しになれば幸甚と思っております。経済学部で修士課程習得の予定とのことですが、幸いなことに本人は、明るく、素直で、且つ頑張り屋なので、楽しい日本語レッスンが出来るのではと期待しております。

まだ始めたばかりで詳しい話を聞くまでには至っていませんが、日本に留学した最大の理由は、日本が大好きで自分なりに日本での家族的生活習慣を作って見たい、可能なら日本で就職したい、ということです。日本語の習得のみに止まら



留学生と筆者

ず、今回の交流を機に、幼い頃から憧れていた日本への夢を実体験から大きな成果を達成しようとしているように感ずる次第です。

## 2015年日本オープンゴルフ選手権にボランティア参加して

清水 義男（登録会員）

日本で最も古い歴史をもつ「日本オープンゴルフ選手権」が兵庫県六甲国際ゴルフ倶楽部東コースで10月15日から18日にかけて開催されました。この大会にボランティアとして参加いたしましたのでその状況についてご報告申し上げます。

参加選手120名（内アマ16名）がその名誉と、総額2億円、優勝賞金4千万円を懸けてしのぎ



を削りました。勝負に懸ける選手のただならぬ雰囲気、初日の早朝練習時からピリピリと伝わってくるほどです。それを支える我々ボランティアも280名（他に学生ボランティア等多数）体制でその任に着きました。

担当業務は9業務あり、私は1日目2番ホール玉探し、2日目12番ホール池侵入地点チェック、3日目12番ホールギャラリーのクロスウェイ開閉を、それぞれ担当し無事終了することが出来ました。

真剣に勝負に徹する選手、そのキャディの近寄り難いオーラ、卓越した選手の技術で難コースを攻略するのは日頃の体力、技術の鍛錬は我々の計り知れないほどの努力の賜物と推察し敬服するばかりです。また優勝した、小平選手の精神力には感服させられます。そして、忘れてならないのは、その表舞台を支える多くのコース管理者、トーナメント運営者の並々ならぬ努力の成果と思います。更に我々ボランティアの役割決定等は管理者の方々が不眠の努力をしておられることと推察し、改めてお礼申し上げます。

いつか、ギャラリーとなった節には、マナーを守り、選手を応援、激励するよう努めてまいりたいと思います。



## 2015年大阪マラソンにボランティア参加して

森 輝美（東レOB）  
恵子

10月25日、秋空の下開催された「第5回大阪マラソン」に団体ボランティアとして「三井V-Net」の仲間（総勢18人）と、15キロ地点での給水活動に初めて参加させて頂きました。

大阪のメインストリート御堂筋の本町あたり、名物のイチヨウ並木はまだ緑を保っていましたが、落下した銀杏が踏みつけられて独特の匂いを放っていました。

大会のスローガンは「みんなでかける虹」。これまで最多の32,000人のランナーは、車いすマラソンが午前8時55分、マラソンとチャレンジランは9時、大阪城公園前をスタート。御堂筋、中之島、通天閣などの名所を経て大阪南港のインテックス大阪がゴールです（制限時間7時間）。

車いすマラソンの先頭が、滑るような速さで目の前を通過したのが9時31分、惜しめない声援と拍手を送りました。マラソンのトップは早くも独走で9時48分に通過、2位との差は大きく開いていました。上位を走るランナー達は給水場には目もくれず走り抜けていきました。

やがて御堂筋は、虹が架かったような景色に変わりました。7色のゼッケンを付けたランナーの流れは、いつ果てるともなく延々と続きました。アニメのコスプレ姿、ハロウィーンの仮装をするグループ、スマホで写真を撮りながら走る人、くだおれ太郎も走ります。阪神タイガース背番号6のユニホーム姿には「金本頼んだゾ！」と声援が飛びます。笑顔で「ありがとう！」とこちらに手を振って走っていく人もいます。

市民マラソンは昨年、小規模なものを含めると約1,800大会が国内で開催されたそうです。大阪マラソンは、お祭りのように賑やかで華やか、応援がすごいと言われています。沿道のボランティアと観衆の温かい声援が大会を支えました。来年もぜひ、この感動を味わいたいと思います。





## 二色の浜ビーチクリーンアップに参加して 新井 章 (三井化学OB)



昨日がゴルフコンペだったこともあり、朝寝坊をしてしまったので、朝食を急いで済ませて、今や秋の恒例の行事、二色浜ビーチクリーンアップに参加するため家を出た。一昨夜の暴風雨が嘘のような青空のもと、少々、汗ばんだ頃に会場に到着。

受付で注意事項などのメモと参加者名簿を受領する。感想文を依頼されたのは、想定外だったが、参加する皆さんと雑談を交わしながら、開会式を待つ。久しぶりに顔を合わす仲間もいて、一寸した旧交を温められるひと時だ。

海岸でグループ写真を撮ってもらってから、集合場所に戻って、開会式が終わると、いよいよ、海岸に移動して、ごみ拾い。一昨夜の暴風雨の影響か、例年に比べ、ごみが少ないようにも感じる。ごみ拾いをしながら、時々、仲間とバツタリ遭遇。ここでも、近況報告など旧交を温めるのだが、痛みを感じ始めた腰を伸ばす良い機会でもある。感想文を仰せつかったせいで、誉田さんにスナップ写真を撮っていただく。思わぬ役得ではあるが、これで、愈々、感想文を断れなくなったと覚悟する。しばらくすると、今日は、天気が良い過ぎるとかで、少々、早めにごみ拾い終了宣言があった。

レストハウスに移動して、ごみの分析だが、例年、頭を悩ますことになる。経験者が多いため、年々、手際は良くなっているのだが、それでも、もっと、現実的な分類方法がないのだろうか？とは思う。最後に、全体の写真撮影があって、閉会宣言の後、解散。

爽やかな気候に恵まれ、若干の疲労感も覚えながら、ボランティア活動に参加出来た充実感を感じて、帰宅の途についた。

事務局の皆さん、お世話になりました。参加された皆さん、お疲れさまでした。



## “ささやかでも”

澤田 道代 (登録会員)

長年の会社勤めの後、3カ月の入院生活をへて健康を回復し京都府立医科大学附属病院の患者図書室“ほほえみ”が2012年11月よりスタートするのを三井V-Netを通じて知り、ささやかなお手伝いをするようになりました。

仕事をしている時は少々のことでは倒れないと健康には自信を持っていました。



今からおもえば自己過信もいいところでした。若い頃英国で生活していた時、周りの親しい英国人達が色々なボランティア活動をしているのに接してきました。自分の専門を生かしての退職後のボランティア活動、また社会の弱者のために週末にボランティア活動をしていた人もいました。英国はおそらくボランティア活動の盛んな国の一つと思います。彼等の活動を日常的にみて、私も退職後はささやかでも何かをしたいと思っていました。

府立医科大学附属病院の患者図書室“ほほえみ”は、24時間オープンしているというあまり他ではないと思われる試みです。新しく購入した本で運営しているということも“ほほえみ”の特長だと思います。患者さんのご希望する本と、私達ボランティアが選ばせて頂いた本を年に数回病院に購入していただいています。

私達ボランティアの仕事は、患者さんとそのご家族への本の貸し出しや返却手続き、書架の整理そしてボランティア在室中はコンピューターを出して患者さんに使ってもらおうという簡単なお手伝いです。患者さんやそのご家族が罹患された病気の本を探すお手伝いをして、ご希望の本をご一緒にさがしたりすることもあります。私自身の長い病院生活を通じて、病室以外で“ほほえみ”と名付けた図書室という居場所があることは心休まると思います。患者さんもここがあってよかったとノートにコメントしてくださる方もおられ、嬉しく感じます。週一度くらいの活動ですが、出来る限り長く続けたいと思います。



## 中国支部（広島）

### 広島とボランティア

森重 悌二（三井住友銀行OB）



転勤で当地に来るまでは広島は縁もゆかりもないところでした。転勤の希望地は過去に勤務経験もある福岡か北九州にある支店でした。福津市の自宅はいつでも帰ってこられるよう空き家のままにして待っていたのですが自分の思うようにはならず途中の広島止まりとなった次第です。

でも広島に住むことになったお陰で、再就職、再々就職が出来た上に今のボランティアとの縁が出来ました。

定年後は悠々自適などとは考えたことはありませんでした。働かせていただくところがあれば、体が動く限り働き続けるつもりでした。一方では仕事を辞めたら何か人のお役に立つことをしてみたいという思いが心の片隅にありました。

75歳のときに悪性リンパ腫、前立腺がんと次々に発症し仕事が続けられなくなりました。

仕事をしているときは妻を亡くした後の寂しさを仕事で紛らわしていましたが、退職後はこれといった趣味もなく週1回お習字のお稽古に行くぐらいで人とお会いすることが少なくなり、こころにぽっかりと穴が開くような日々でした。麻雀、釣り、ゴルフいずれも始めてはみたものの一つものにならず、今になって、趣味を通じた友人の少なさが悔やまれます。

そこで銀行時代職場を共にした人が三井ボランティア（広島）にお勤めだったので活動に参加して見ることにしました。

3年前の6月初めて平和公園の清掃に行ったときスタッフの方々の優しさとベテランのメンバーの方が一緒に歩いていろいろ教えて頂き気持ちが

ほぐれ来月も来ようという気持ちになりました。

回を重ねるうちに余裕も生まれ周囲の景色、中でも季節ごとに変わる花壇の美しさは特別でした。広島に来て30数年になるのに、平和公園をゆっくり見たこともありませんでしたが、清掃の傍ら園内に沢山ある石碑の碑文を一つ一つ読みながら戦時中のことを思い出したりすることもありました。

この活動のメンバーは若い男女の学生さん、子供づれのお父さん、サラリーマン、それに私たちシルバー層といろいろです。特に小さなお子さんが大きな火ばさみでごみをひろうしぐさを見ているところらも思わず笑みがこぼれます。

1人で回る人、家族で回る人、数人で楽しく歩く人、活動の仕方も様々です。誰からも強制されず自由に参加でき、また活動中も公園の中ならどこでもその日の気の向くままに歩き回れるので、気軽に誰でも参加できます。私の性にぴったりの活動です。これからもメンバーのみなさんのお邪魔にならないよう気をつけながら町内会の行事と重ならない限り参加しようと思います。

### 広島平和公園の清掃活動100回を迎える

中国支部事務局

三井V-Net中国支部が開設された翌月の平成18年11月から始めた毎月1回の広島平和公園の清掃活動は、H27年7月で記念すべき100回を迎えました。活動当初より東芝エレベータ(株)中国支社の皆さん・広島経済大学の学生さんを初め、多くの会員の方に参加頂き、これまで延約2,500名の参加がありました。地味な活動ですが世界の平和都市広島象徴である平和公園を塵ひとつない公園に保ちたいという思いが共感を受け、皆様に支えられ9年間継続できました。これからもこの清掃活動は中国支部の活動の要として続けていきたいと思っています。



前列中央の帽子をかぶった方が筆者





人と人のまんなかに。

## 水源林整備推進事業

### 「まちと森と水の交流会」に参加

山口 亮輔

(東芝プラントシステム(株)山口営業所現役)

毎年10月下旬に開催される山口県周南市有林「ふれあいの森」でのイベント、山口県周南農林事務所主催の「まちと森と水の交流会」に会社のCSR活動の一環として、また三井V-Net



会員の一員として石津所長、有吉さんとの3名で参加しました。山口県の企業30社から総勢466名の沢山のボランティアが集まりました。急斜面での伐採作業でしたので足元を注意しながら手ノ

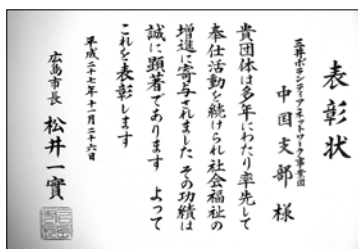


右端が筆者

コで木の生育を妨げる低木を切ったり、密生している笹などを鎌で除去したりしました。薄暗かった雑木林も整備後は日差しが差し込む明るい森となりこの日は晴天にも恵まれ清々しい1日でした。

## 社会福祉関係功労に対する広島市長表彰受賞について

中国支部事務局



三井V-Net中国支部は永年にわたり地域住民の福祉向上に貢献したことが評価され「広島市長表彰」を受賞しました。これもひとえに会員みなさまのご支援により地道にこつこつ活動してきた賜物であると感謝しております。

中国支部は平成18年10月に開設され今年で節目の10年を迎えます。これからも三井グループのOB,OGを中心としたボランティア団体として長きにわたり地域貢献できる活発な組織体として頑張っていきたいと思っています。

「平成27年度の広島市社会福祉大会」が平成27年11月26日に広島市中区のアステールプラザで開催され三

## 事務局便り

### 2015年 一木会例会の行事報告

東京本部事務局

三井V-Netのボランティア会員が一堂に集う一木会例会は、年4回1,4,7,10月に開催しています。

例会では事務局報告、各部会報告、講演を行い、終了後には親睦会を行って会員同士の交流を深めています。

2015年の一木会例会の概要は以下の通りです。

#### 【1月例会：1月8日 三井住友海上ビル】

- ・ 團野理事長新年挨拶、事務局報告
- ・ 講演 「生き生きとしたシニアライフを送るために」

講師：三井記念病院リレーション部長 中嶋義文氏



講演内容：

三井記念病院中嶋義文リレーション部長より「生き生きとしたシニアライフを送るために」というテーマでの講演を行っていただきました。

「よい眠り」と「良い関わり（自らの関わりと社会とのかかわり）」がいきいきとしたシニアライフを送る鍵であり、良い眠り、良い関わりに関する分かり易いお話がありました。



#### 【4月例会：4月24日 商船三井ビル】

- ・ 事務局報告
- ・ 講演 「写真で伝える世界、東北の今」

講師：フォトジャーナリスト 安田葉津紀氏



講演概要：

写真を交えながら、カンボジアやシリア難民のキャンプの様子などフォトジャーナリストとして訪れた海外の情勢を詳しく説明、さらに現在居住している陸前高田市にも触れ、「奇跡の一本松」や東北の子供たちについて、現状を訴えました。



【7月例会：7月2日 東芝ビル】

- ・事務局報告
- ・部会報告 東大国際センター部会  
(白井代表世話人)
- ・講演 「近くて遠い国 北朝鮮を訪問して」

講師：エコア(株)会長 宮澤公廣氏

講演概要：

環境関連事業を幅広く行っている「エコア株式会社」会長で、環境省環境カウンセラーの宮澤公廣さんから、「近くて遠い国 北朝鮮を訪問



して」と題して昨年北朝鮮を訪問した際の経験を元に、マスコミ報道などからはなかなか窺いにくい、生の現地体験ならではの経験談



が写真と共に紹介されました。

【10月例会：10月22日 商船三井ビル】

- ・事務局報告
  - ・部会報告 千葉大部会  
(井出前世話人)
  - ・講演 「思い切って田舎暮らし…  
が教えてくれたこと」
- 講師：フリーアナウンサー  
小林節子氏



写真提供 三友新聞社

講演概要：

テレビショッピングの草分け番組と言える「レディーズ4」の司会を永年担当した際の楽しい裏話や、ご両親の介護のため田舎暮らしを始めた経験談などについてお話をされました。

## 物品ご提供による支援のお願い

三井V-Netでは下記の物品を随時収集しております。

集まった品々は年末に一年分を取りまとめ協力団体を経由して換金のうえ、東南アジア僻地の子供たちの中学就学やインドでの女性の生活向上と農業プロジェクトおよびインドネシアにおける給水・農業の技術指導など各事業の支援に役立てています。

支援金のもととなる物品につきましては、ボランティア会員に限らず広く一般の皆様からのご提供もたいへんありがたく、お知り合いにもお声をかけていただければたいへん幸甚でございます。ご協力を心よりお待ちしております。

### ご提供いただきたい物品

- 未使用はがき・書き損じはがき
- 切手(国内外、使用・未使用問わず)
- プリペイドカード(使用・未使用問わず)
- 使用済み(純正)インクカートリッジ



### ご提供品送付先

三井ボランティアネットワーク事業団の本部  
もしくは各支部あて

#### ■本部(東京)

〒107-0052 東京都港区赤坂3-11-3 赤坂中川ビル3F  
TEL: 03-5570-2181 FAX: 03-5570-8035

#### ■関西支部(大阪)

〒556-0011 大阪市浪速区難波中1-12-5 難波室町ビル4F  
TEL: 06-4396-8680 FAX: 06-4396-8681

#### ■中国支部(広島)

〒730-0017 広島市中区鉄砲町6-7 槌本ビル5F  
TEL/FAX: 082-222-5101

# 三井ボランティアネットワーク事業団 (三井V-Net) 皆様もボランティア活動に参加しませんか

三井ボランティアネットワーク事業団は、三井グループ有志各社の協力を得て、1996年に設立されました。主として三井グループ企業出身のシニア層のボランティア活動を推進し、豊かで健康な生きがいを感じられるように支援を行い、以て三井グループ全体の社会貢献とすることを主たる目的としています。ボランティア活動会員登録には入会金および年会費等は不要です。

<b>ボランティア活動会員登録票</b>		(関東地域) 03-5570-8035	
		FAX (関西地域) 06-4396-8681 (中国地域) 082-222-5101	
三井ボランティアネットワーク事業団(三井V-Net) 御中 貴事業団を通じたボランティア活動への参加を申込みます。			
		記入日 20 年 月 日	
氏名	(フリガナ)	生年月日	19 年 月 日
		性別	[ ]男 ・ [ ]女
住所	郵便番号 -		
自宅電話番号	- -		
自宅FAX番号	- -		
携帯電話番号	- -		
メールアドレス			
出身企業			
以下の活動についてご希望される項目に○印を入れて下さい(複数可)			
希望する ボランティア	① [ ] 国際交流(留学生と日本語を通じての交流・文書作成の支援等)		
	② [ ] 環境保全(河川敷・海岸等の掃除、水源林地域保全活動)		
	③ [ ] 医療(病院外来の案内・図書整理・演奏活動等)		
	④ [ ] 福祉(福祉施設内の草刈・掃除、福祉団体主催イベントでの手伝い等)		
	⑤ [ ] 文化・教育(文化施設での手伝い、アジアの児童の奨学金支援)		
会員登録の動機について該当項目に○印を入れて下さい(複数可)			
[ ] 出身企業の紹介 [ ] ホームページを見て [ ] ニュースレターを見て			
[ ] 知人( )の紹介 [ ] その他( )			

上記入手の個人情報は、個人情報保護法の方針に従って厳重に管理し、ボランティア活動に必要な範囲内に限り使用させていただきます。

## 三井ボランティアネットワーク事業団

本部(東京) 〒107-0052 東京都港区赤坂3-11-3 赤坂中川ビル3階  
TEL:03-5570-2181 FAX:03-5570-8035

関西支部(大阪) 〒556-0011 大阪市浪速区難波中1-12-5 難波室町ビル4階  
TEL:06-4396-8680 FAX:06-4396-8681

中国支部(広島) 〒730-0017 広島市中区鉄砲町6-7 槌本ビル5階  
TEL:082-222-5101 FAX:082-222-5101

ホームページからも登録していただけます。 <http://www.mv-net.com/>